機能ID	機能名称			機能要件	実装区分			適合基準日
	大分類	中分類	小分類		指定都市	中核市	一般市区町村	
0020013	1 管理項目	1.1 登録データ	1.1.7 年月日の表示	年月日（1.1.2（外国人住民データの管理）に規定する項目のうち、外国人住民の生年月日を除く。）を、印鑑登録証明書又は画面表示において、西暦で記載・表示（併記を含む。）すること。 1.1.2（外国人住民データの管理）に規定する項目のうち、外国人住民の生年月日を、和暦で記載・表示（併記を含む。）すること。	×	×	×	－
0020014	1 管理項目	1.1 登録データ	1.1.8 メモ	個人を単位とし、記載事項を限定しないメモ入力ができること。 メモ入力されたものについては、印鑑登録証明書に出力されないこと。	◎	◎	◎	令和８年４月１日
0020015	1 管理項目	1.1 登録データ	1.1.8 メモ	メモを入力した者の操作者ID及び日時が記録されること。	◎	◎	◎	令和８年４月１日
0020016	1 管理項目	1.1 登録データ	1.1.8 メモ	メモの修正・削除について履歴管理すること。	◎	◎	◎	令和８年４月１日
0020017	1 管理項目	1.1 登録データ	1.1.9 郵便番号	住所の郵便番号を管理すること。	◎	◎	◎	令和８年４月１日
0020018	1 管理項目	1.1 登録データ	1.1.10 氏名優先区分	郵便物の送付先の記載に対して氏名優先区分（例：外国人住民について、通称のみの記載を希望するか、本名のみの記載を希望するか。）を管理すること。	○	○	○	－
0020019	1 管理項目	1.2 異動履歴データ	1.2.1 異動履歴の管理	1.1.1（日本人住民データの管理）及び 1.1.2（外国人住民データの管理）に規定する異動履歴は、以下の項目を管理すること。 （別表第二の機能ID0020019の項の項目詳細の欄を参照）	◎	◎	◎	令和８年４月１日
0020020	1 管理項目	1.2 異動履歴データ	1.2.1 異動履歴の管理	別途管理している操作者ID及び操作日時（9.2（アクセスログ管理））については、異動履歴とひもづけることができること。	◎	◎	◎	令和８年４月１日
0020021	1 管理項目	1.2 異動履歴データ	1.2.1 異動履歴の管理	異動したデータ自体については、以下のとおり、時点ごとに全項目の履歴データを持つ方式により管理すること。 ・印鑑登録証明書等に記載する各項目を1列とし、全項目を1行で保持する。 ・データキーは、宛名番号と履歴番号でユニークとする。履歴番号は1からの単純連番とする。 ・履歴は、データキーの履歴番号をカウントアップし、項目内容の変更有無に関わらず、全項目の内容を保持する。 ・履歴番号が最大のデータを1件セレクトすることで、その個人の直近データの全項目を取得する。	◎	◎	◎	令和８年４月１日
0020263	1 管理項目	1.2 異動履歴データ	1.2.2 異動事由	システムが管理する異動事由コード及び付随する区分により、以下の区分が行えること。また、以下の区分からシステムが管理する異動事由コード及び付随する区分にマッピングができること。 異動事由は、以下のとおり区分すること。 （別表第二の機能ID0020263の項の項目詳細の欄を参照）	◎	◎	◎	令和８年４月１日
0020023	1 管理項目	1.2 異動履歴データ	1.2.2 異動事由	異動事由は、以下のとおり区分すること。 （別表第二の機能ID0020023の項の項目詳細の欄を参照）	○	○	○	－
0020024	1 管理項目	1.3 その他の管理項目	1.3.1 入力場所・入力端末	システムログや証明書発行管理に使用するため、印鑑登録システムを使用する場所として、本庁、支所、出張所、印鑑登録システム利用課等の入力場所及び入力端末等の登録管理ができること。	◎	◎	◎	令和８年４月１日
0020025	1 管理項目	1.3 その他の管理項目	1.3.1 入力場所・入力端末	指定都市においては、区（総合区を設置している場合は総合区。以下同じ。）（区役所）を管理できること。	◎	―	―	令和８年４月１日